

1. 件名

評価結果と追跡調査結果に関する複合的調査

2. 目的

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）では、NEDOが実施した研究開発事業（ナショナルプロジェクト及びテーマ公募型事業）の開発成果が社会にもたらす効果・便益を把握することによって説明責任の向上を図るとともに、NEDOの研究開発事業のマネジメントや企画立案機能の向上に資することを目的として、プロジェクト等の評価及び追跡調査を実施している。

NEDOのプロジェクト評価は、プロジェクトごとに外部委員で構成される研究評価委員会分科会によって行われ、各委員による評点の平均点及び全員のコメントをまとめて作成した総合コメントが、研究評価委員会による承認を経て評価報告書にて評価結果として公開される。また、追跡調査は、研究開発事業終了後に複数回にわたってプロジェクト参画事業者へのアンケート等を行うことによって実施している。

NEDOの評価結果と追跡調査結果の関係性については、これまでに、評価結果の平均評点と追跡調査結果の実用化状況（実用化達成率）の間に一定の相関を見いだしているが、委員コメント及びその他の追跡調査結果（実用化状況以外）での回答項目など定性的な情報を含めた分析には至っていない。

そこで本調査では、研究開発プロジェクトの評価結果及び追跡調査結果を用いた定性・定量的な視点から複合的な分析を行い、評価方法の高度化につなげるための調査を主たる内容とする。

3. 内容

上記の目的を達成するために下記項目を実施する。調査の実施にあたっては、NEDOとの密接な連携の下で行うものとする。

（1）分析内容の決定とデータの整備

評価結果と追跡調査結果の関係性に関する複合的分析内容を検討し、NEDOと協議して決定する。なお、分析にあたっては、過去実施した調査結果等も参考にしつつ、定性情報の定量化や事業終了後のタイムラグによる影響など新たな観点を加えて実施する。分析内容の一例として、評価結果におけるコメントのテキストと評点の関係の詳細分析、追跡調査結果における諸回答項目間の関係分析、評価結果と追跡調査結果の関係の分析等が挙げられるが、これらに限らず検討する。

分析内容の決定後は、分析を行うために最適な（エクセルあるいはアクセスベース）データセットをNEDOから提供する評価結果及び追跡調査結果を用いて作成する。

（2）分析・考察

上記（1）で決定した分析内容について、既存及び本調査で作成したデータセットを用いて分析を実行する。分析項目のうち統計解析を用いる場合には、分布、偏差等の統計値を必ず含むとともに、その他グラフ・図表を用いて特徴が理解しやすいよう表現を工夫すること。また、その分析結果の考察とプロジェクトマネジメントの高度化に資する観点からNEDOの評価及び追跡調査の手法に対する提案を行う。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から2023年3月31日（金）まで

5. 報告書

提出期限：2023年3月31日（金）

提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

7. その他

- (1) NEDOから提供するデータのうち、DVD-R等に格納して提供するものについては、調査完了日までにNEDOに返却すること。また、提供データを保存したパソコン内から本調査内で作成したデータを含めて、委託期限終了後に全て削除しNEDOへ報告すること。
- (2) 調査の進捗状況は、NEDOの求めに応じて随時報告する（2回/月程度）とともに、必要に応じて外部有識者の意見を聴取し調査に反映させること。またNEDOの求めに応じて、NEDOが設置する委員会等で説明等を行い、委員の意見等を調査に反映させること。
- (3) 本仕様書に定めなき事項については、NEDOと実施事業者が協議の上で決定するものとする。